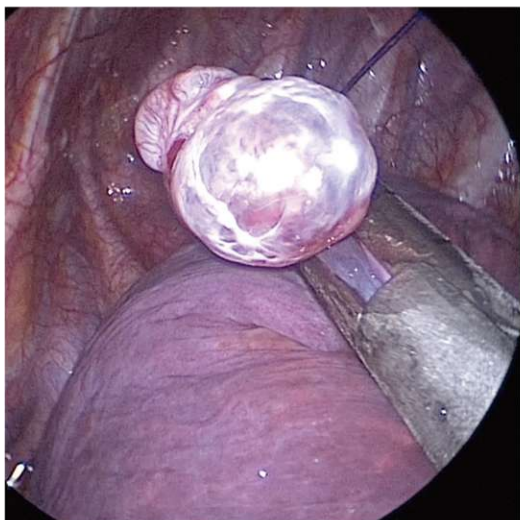




呼吸器センター通信 vol.5

新小倉病院呼吸器センターは、平成 29 年度、小倉記念病院より岩田輝男先生、産業医科大学より小林健一先生を迎え、さらに充実してチーム医療を行っています。昨年度は、手術症例は 140 例を越え、ほぼ 90%を胸腔鏡手術で安全に終わることができました。最近では、自然気胸に対して、皮膚切開を 1ヶ所もしくは 2ヶ所で行う reduced port surgery も試みております。



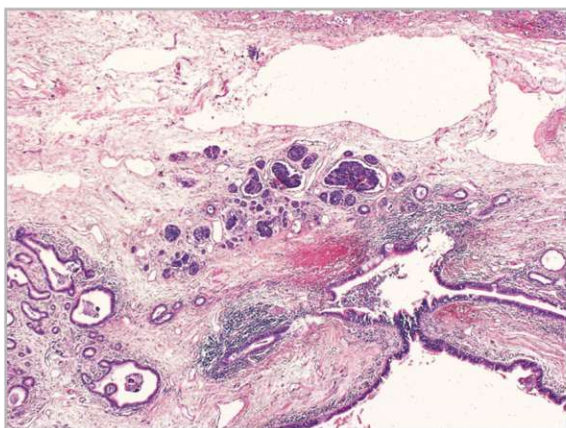
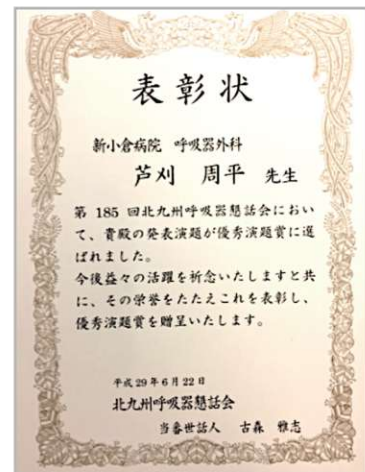
一つの皮膚切開孔より、肺嚢胞を切除



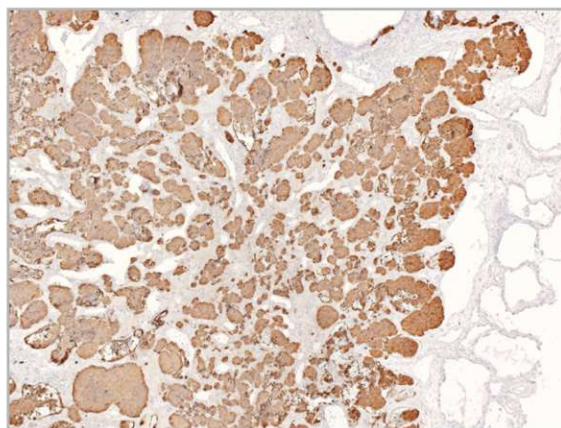
2.5cm の皮膚切開とドレナージチューブ

第 187 回北九州呼吸器懇話会 優秀演題賞 受賞について

当院の芦刈周平医師が、北九州呼吸器懇話会において、「肺腺癌と多発カルチノイドを認めた一切除例」と題して発表した演題が、優秀演題賞を受賞いたしました。肺腺癌にカルチノイドという腫瘍が合併した稀な症例でした。研究会では、カルチノイドの診断が術前に可能であったか、多発した機序についてなどの討論が行われました。



多発するカルチノイド及びチューモレット



クロモグラニン、シナプトフィジンは、いずれも陽性